

寄稿

代表してのものでもありません。

7月15日付の『高田区地域協議会だより』は冒頭で「名称変更に限定了した自主的審議は行わない」とに決定」と述べ、

「今後、市の高田公園整備計画を把握した上で、将来的なあり方も含め、高田公園全体について議論していくことになりました。」としてい

ます。さらに「地域協議会の回答(要旨)」の〈理由〉で次のように述べています。

「現段階では、高田公園の名称変更によるメリットや高田区の住民生活に及ぼす影響が明確でなく、この件の関心度

も地域によって異なっている。また、高田城址公園に変更する場合、単に公園の名称変更に限定的問題ではないことから、名称変更に限定的提案は、自主的審議事項として取り上げないものと判断

した。」

高田区地域協議会で決定したのは「名称変更に限定了した自主的審議は行わない」ということでした。

私は「高田公園に關しては、様々な問題があり、それら全

体を議論する中で、名称問題も議論すべき」という立場です。それでこの決定に賛成しました。

高田区地域協議会では、高田公園のあり方、抱える諸問題について、これまで

高田公園をどういう公園にしようとしているのか?」が大きな議論になったのでし

た。

現在芝生広場になっているソフトボール(球場)でした。

そうしたことから、「上越市は高田公園をどういう公園にしようとしているのか?」が大きな議論になったのでし

た。

城址を中心とした文化・歴史公園としていくのか。(これが当時の委員の多数意見だったと思えます。)

陸上競技場や野球場、ソフトボール場(当時、市は絶対

に動かせないと言っ

ていた)などを整備してスポーツ公園としていくのか。

空いている土地は「有効利用」して何の特徴もない単なる公園にしてしまうのか。

附属中学校や県上越地域振興局は移転すべきではないか。

スポーツ施設も他に移転した方がよいのではないか。

等々。

こうした議論の過程で市から示されたのが「高田公園ゾーン図」と「短期的整備に向けた課題」

「短期的整備計画(平成27、34年度)」でした。この特徴は高田公園を四つのゾーン「①文化・憩いゾーン、②交

流ゾーン、③学びゾーン、④歴史ゾーン」に分けて整備するということにあります。

「④歴史ゾーン」についてみると、その範囲は、内堀が取り囲む範囲で、しかも附属中学校の校地は除外されています。外堀の中、全部ではないのです。私の目的は、高田公園を城址を中心とした文化・歴史を生かして、高田のシンボルとしていこうという姿が全く見えませんでした。

私は、高田公園の名称を高田城址公園に変えた方が分かりやすく良いと思っています。

その実現の方法として「名称問題だけを切り離して議論する」という方法もあるでしょう。「他の諸問題とともに、総合的に議論する」という方法もあるでしょう。別の方法があるかもしれない。

何度も言うようですが、高田区地域協議会では高田城址公園という名称に変更する議論を拒否したわけではありませんが、名称だけを切り離して議論するのはなく、他の諸問題も含めて議論すべきとしたのです。

それで私は、その決定に賛成しました。(上越市東本町

5)

高田公園の名称変更

拒否したわけではない

杉本 敏宏

論してきた経過があります。

一番は、(仮称)厚生産業会館(オーレンプラザ)の建設に關わつての議論でしょう。建設場所4

案のうち2カ所が高田公園内(現オーレンプラザの位置と、

高田公園をどういう公園にしようとしているのか?」が大きな議論になったのでした。

附属中学校や県上越地域振興局は移転すべきではないか。

スポーツ施設も他に移転した方がよいのではないか。

等々。

こうした議論の過程で市から示されたのが「高田公園ゾーン図」と「短期的整備に向けた課題」

「短期的整備計画(平成27、34年度)」でした。この特徴は高田公園を四つのゾーン「①文化・憩いゾーン、②交

流ゾーン、③学びゾーン、④歴史ゾーン」に分けて整備するということにあります。

「④歴史ゾーン」についてみると、その範囲は、内堀が取り囲む範囲で、しかも附属中学校の校地は除外されています。外堀の中、全部ではないのです。私の目的は、高田公園を城址を中心とした文化・歴史を生かして、高田のシンボルとしていこうという姿が全く見えませんでした。

私は、高田公園の名称を高田城址公園に変えた方が分かりやすく良いと思っています。

その実現の方法として「名称問題だけを切り離して議論する」という方法もあるでしょう。「他の諸問題とともに、総合的に議論する」という方法もあるでしょう。別の方法があるかもしれない。

何度も言うようですが、高田区地域協議会では高田城址公園という名称に変更する議論を拒否したわけではありませんが、名称だけを切り離して議論するのはなく、他の諸問題も含めて議論すべきとしたのです。

それで私は、その決定に賛成しました。(上越市東本町

5)